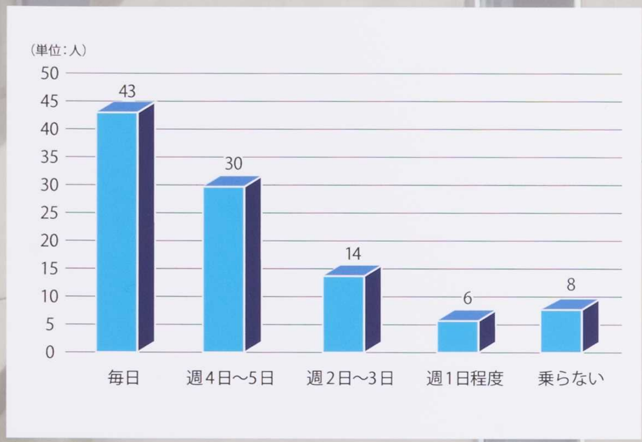
守れてる？

僕たちの**命**を守る

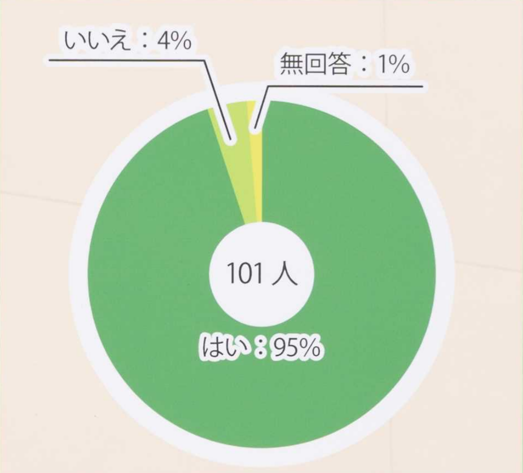
自転車の交通ルール

さぬき南中学校2年生101人調べ　アンケート令和７年７月10日実施

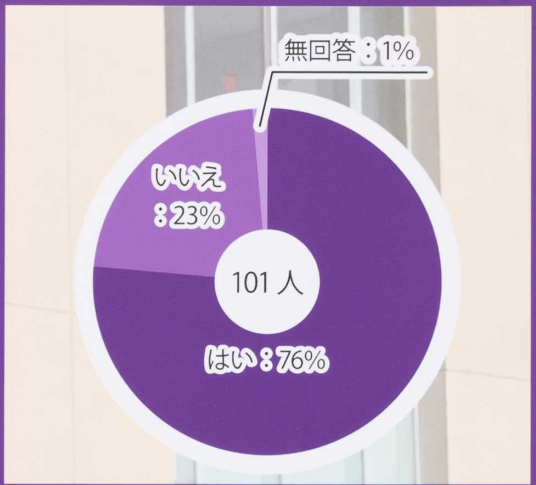
1 あなたはどれくらいの頻度で自転車に乗りますか



2 あなたは通学以外でもヘルメットを着用していますか



3 あなたは令和6年11月に自転車の道路交通法が改正されたことを知っていますか



4 あなたは自転車で接触をしそうになった、または接触をしたことはありますか

5 あなたが知らなかった自転車の交通ルール違反はどれですか

6 これらの自転車の交通ルールで自分が守ることができているものはどれですか

7 自転車の道路交通法違反の厳罰化は何歳から適用されると思いますか

考　察

★日常的に自転車を交通手段として利用している人が多く、9割以上の人が通学以外でもヘルメットの着用をしていることがわかる。

★自転車の道路交通法が改正されたことを知っている人は8割弱いるが、どんなことがルール違反であるかのかを詳しく認識できていない人もいる。しかし、実際はほとんどの人が守れている項目もあり、これは警察の方の協力のもと、毎年学校で行われている交通安全教室が日頃の交通ルールの遵守に繋がっているのだと思う。

★交通ルールを守っていても、自転車で接触をしそうになった人が半数以上、実際に接触したことがある人が2割いた。「大丈夫」という気の緩みは事故を起こしやすく、軽車両という自転車の特性と、加害者にも被害者にもなりうることをもう一度理解し、自分自身の安全を守ることが大切だと思う。

★16歳よりも早い年齢の13歳や14歳から厳罰化が適用されると思っている人が多いのも、交通安全を意識しているからだと思う。

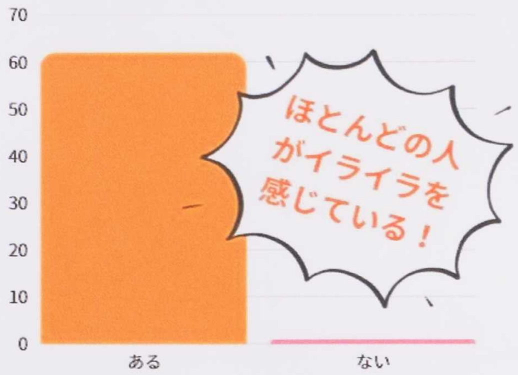
イライラ調査！！

丸亀市立飯山北小学校
5年生の生徒63人
にききました。(R,7,17)

私は姉とよくケンカをしていて本当に毎日イライラしています。その時、私は「みんなもイライラしているのかな？」「どうやって発散しているんだろう？」と疑問がわきました。そこで、５年生のみんなにアンケートをとってみました。

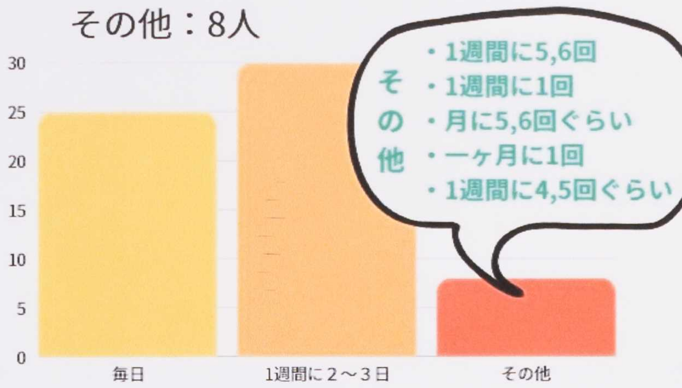
Q1 あなたはイライラを感じることがありますか？

ある：62人　　ない：1人



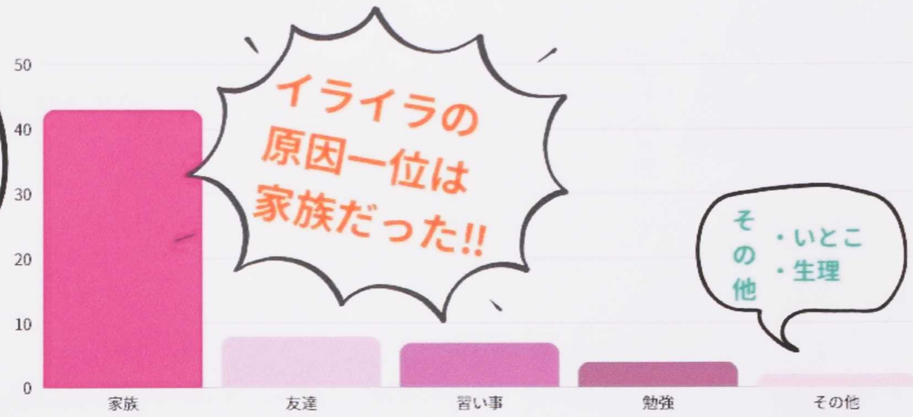
Q2 イライラの頻度

毎日：25人
週間に２～３回：30人
その他：8人



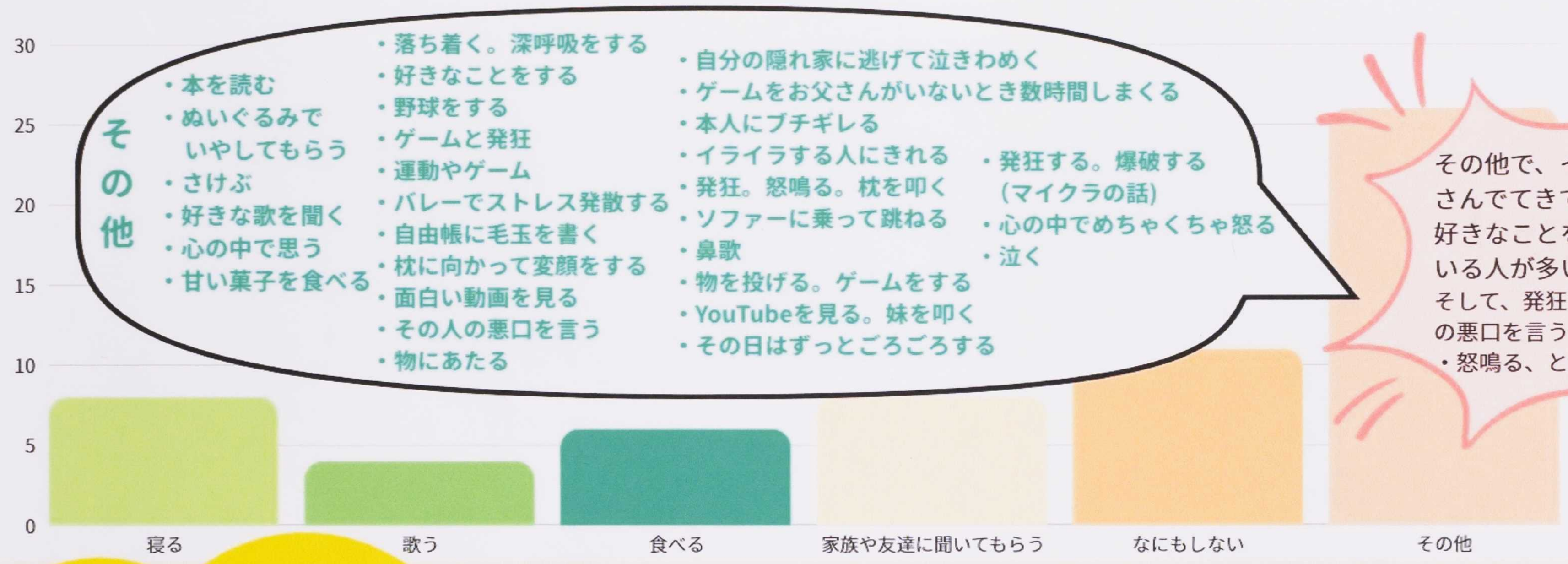
Q3 イライラの原因（複数回答可）

家族:43人　友達:8人　習い事:7人　勉強:4人　その他:2人



Q4 どうやって発散しますか？（複数回答可）

寝る：8人　歌う：4人　食べる：6人　家族や友達に聞いてもらう：８人　なにもしない：11人　その他：26人



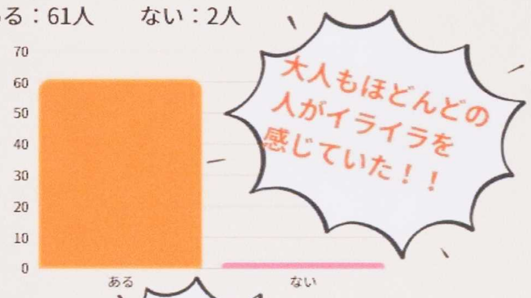
その他で、イライラの発散方法がたくさんでてきていた。中でも、ゲームや好きなことをしてイライラを発散している人が多いことがわかった。
そして、発狂・本人にブチギレる・その人の悪口を言う・妹をたたく・物を投げる・怒鳴る、という回答も意外とあった。

大人にも同じことをきいてみました！！

同じ人数の大人に同じ質問をしました。
学校の先生や、母の職場等の方々が協力してくれました。
丸亀市立飯山北小学校の先生方　23人（R7,7,18～R7,7,22)
社会福祉法人野の花の職員さん　27人（R,7,7,29～R,7,8,1)
NPO法人メロディーの職員さん　13人（R7,7,23～R,7,29)

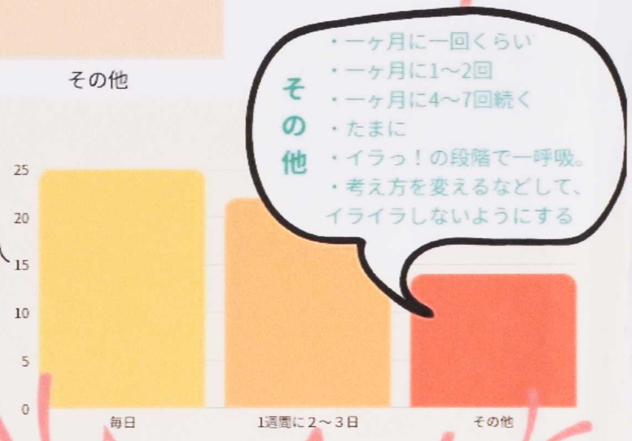
Q１ あなたはイライラを感じることがありますか

ある：61人　　ない：2人



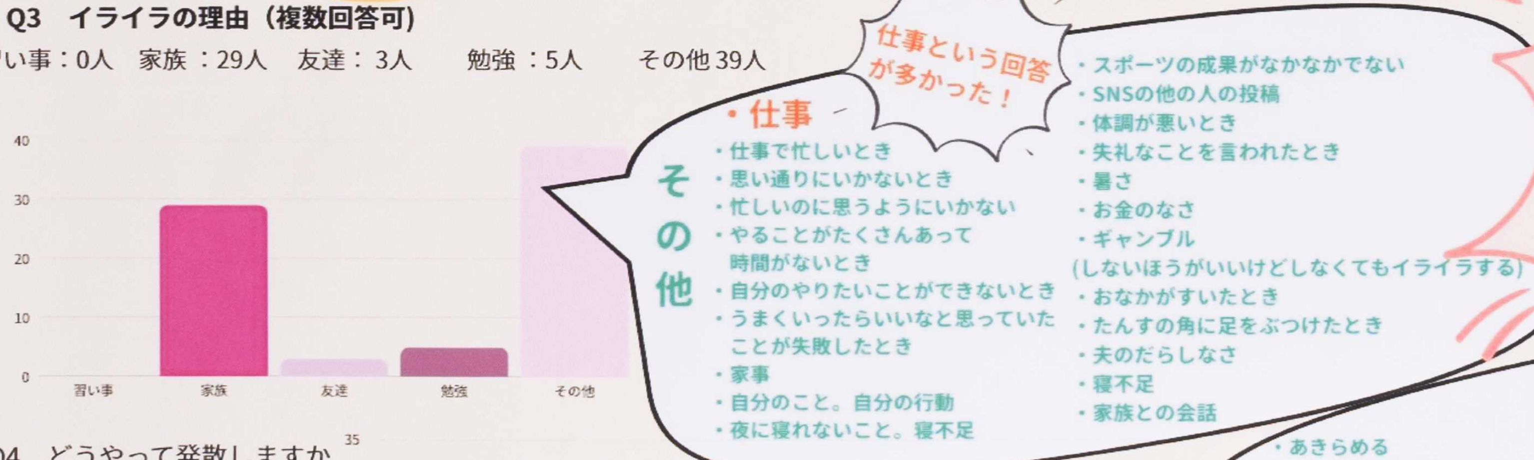
Q2 イライラの頻度

毎日：25人
週に２～３日：22人
その他：14人



Q3 イライラの理由（複数回答可）

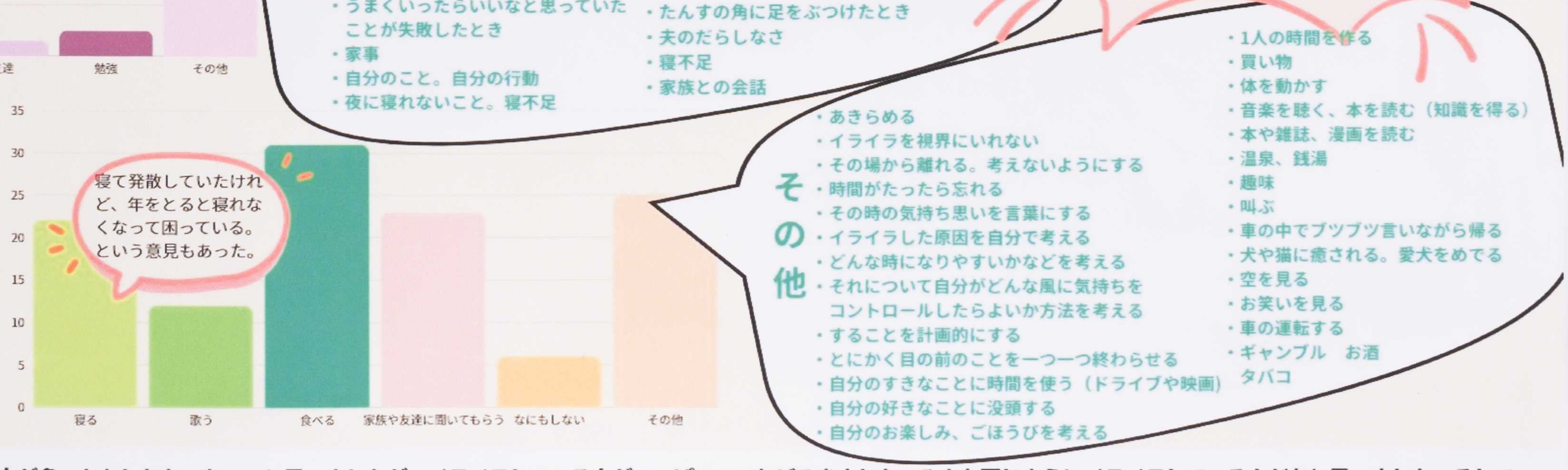
習い事：0人　家族：29人　友達：3人　勉強：5人　その他 39人



あきらめるという回答や、イライラの原因を考えたり、どんなときにイライラしやすいか考えたりと、イライラ自体に向き合うという回答がすごいと思った。
子どもの回答にいくつかあった、人に当たるという回答がほとんどなかった。
ほかにも、発散方法がいっぱいあってすごい!!

Q4 どうやって発散しますか（複数回答可）

寝る	22人
歌う	12人
食べる	31人
家族や友達に聞いてもらう	23人
なにもしない	6人
その他	25人



最初は「イライラしない人の方が多いかもしれないな…」と思いましたが、イライラしている人がいっぱいいておどろきました。みんな同じようにイライラしているんだなと思いました。そして、大人になってもイライラすることはたくさんあるんだなと思いました。

発散方法では「妹をたたく」と「本人にブチギレる」という回答がいくつかありました。私は姉にイライラをぶつけられて、それが原因で私までイライラします。姉以外にも、イライラを周りにぶつける人は意外といるんだなと思いました。イライラは広がっていくから、周りを巻き込まない方法がいいように思います。大人の回答にあった「あきらめる」「イライラした原因を自分で考える」「気持ちをどんな風にコントロールしたらよいか方法を考える」は子どもにはなかった発散方法ですごいと思いました!!
大人になってもイライラはなくならないようです。うまくつきあっていくためにも、これからは人にイライラを広げないにはどうしたらいいのかについても調べたり考えたりしたいです。